

タンポポ

観賞日 2024年11月11日 上映時間 115分

【概要】

制作 1986年

監督・脚本 伊丹十三

音楽 村井邦彦

撮影 田村正毅

出演 山崎努（ゴロー）、宮本信子（タンポポ）、渡辺謙（ガン）、安岡力也（ピスケン）
加藤嘉（センセイ）、桜金造（ショーヘイ）、役所広司（白服の男）、大滝秀治（老人）
津川雅彦（マネジャー）、岡田茉莉子（マナーの先生）、大友柳太朗（ラーメンの先生）



【あらすじ】

昭和も終わりにさしかかった頃の東京。長距離トラックのドライバー、ゴローとガンは流行らないラーメン屋に入り、そこでゴローは喧嘩に巻き込まれる。翌日、負傷したゴローは店主で未亡人のタンポポに介抱され、タンポポに好意を持ったゴローはタンポポにラーメン作りの指南をする。ゴローはタンポポに男の料理人に負けない体力強化、客の観察の仕方、ラーメン作りの手際の良さ等々を教え込む。次に繁盛店の見学、スタッフ集めを行う。「町一番のラーメン店」にするための基本線として、スープはきれいに澄んだしょうゆ味、メンはツルツルシコシコメン、具はチャーシュー、シナチク、ネギの三種類、メニューはラーメンとチャーシューメンの二種類、そして肝心の店名は「タンポポ」に決まる。仲間内の試食会でようやくOKがでて、いよいよ新装開店。一躍繁盛店となったタンポポラーメンだったが、それを見届けたゴローは・・・。

観ていると無性にラーメンが食べたくなる、ラーメンブームの先駆けとなった作品。食通、伊丹十三の面目躍如。

【解説】

■ポイント

●伊丹十三（1933年～1997年）

本名池内義弘。京都市生まれで、父親は映画監督の伊丹万作。妻は本作でも主演を務めた女優の宮本信子。ノーベル賞作家の大江健三郎は義弟。最初は俳優として活動していたが、1984年の「お葬式」から監督業に転身。以後、「マルサの女」（1987年）、「ミンボーの女」（1992年）等のヒット作を連発。1997年、突然謎の死を遂げる。



■見どころ

●繁盛店になるノウハウ

ラーメン店に限らない飲食店共通のノウハウが満載

●今だったら、とても実現できない豪華キャスト

日本映画を代表する名優：山崎努、渡辺謙、役所広司が出演

脇役でも大物俳優：岡田茉莉子、津川雅彦、大友柳太朗・・・。

●ストーリーとは関係のない、ラーメン以外の食のうんちく

フランス料理、ワイン、すっぽん料理